

やまぶき

大田市立大森小学校
学校だより No. 334
発行日 令和5年7月20日
文責 校長 橋井泰治

6/20 救急法講習会 & 梅ジュース作り

参観授業の後、日本赤十字社の方にご指導いただき救急法講習会を行いました。動画の視聴や実際の演習を中高学年の子どもたちと一緒に行っていただきました。夏期休業期間にはプール開放も行われます。あつてはならないことですが、万一の際は、しっかり学びを活かしていただければ幸いです。保護者の皆様には、梅ジュース作りにもご協力いただきました。ありがとうございました。



6/23 箏の学習

正派雅映会の熊谷先生とお弟の皆さんにお越しいただき、今年も箏の奏法を学びました。毎年のご指導のおかげで、学年が上がるにつれ良い姿勢・良い音で弾けるようになっていました。最後に3~6年生で「さくらさくら」を合わせて演奏しました。箏の美しい音色が響き渡る素敵なひとときとなりました。



6/28 ALT とのお別れ

5年間、大森小学校のALTとして勤務されたエミリー先生が、ALTの勤務期間の終了に伴い、アメリカに帰られることとなりました。それぞれの学年でゲームやプレゼントを準備し感謝の気持ちを伝えました。しっかり心に残るお別れができました。



体育館使用方法についての話し合い

10月1日(日)開催予定の大森地区町民運動会での披露に向け一輪車練習が始まりました。高学年は技の数もたくさんもっており、これまでの経験の積み重ねを感じています。1年生にとっては、初挑戦となります。なかなか思うように乗れず、悔し涙を流す姿も見られますが、精一杯がんばっています。

そんな中、生活集会で休憩時間の体育館使用方法について、子どもたちから不満の声があがりました。

- ・一輪車の練習をしたいのに、体育館いっぱいを使ってボールなどを投げ合っている人がいるから危ない。
- ・ボール遊びをしているのに、一輪車が入ってくるから危ない。

意見を求めたところ、たくさんの案も出ましたが、問題点もみつけられました。

- 【提案】
- ・一輪車、ボール遊びができる曜日を定める。
 - ・業間(短い休憩時間)と昼休みで遊び方を変える。など
- 【問題点】
- ・天気の良い日は外で一輪車に乗ればよい。
 - ・だれも一輪車をしていない日がある。 など

後日、生活委員を中心に、考えを整理し全校に提案しました。

- 【生活委員会 提案】
- ・一輪車とボール遊びをする日を毎日交互にもうける。
 - ・一輪車の日は、体育館の半面を使ってボール以外の遊びをしてもよい。

ルールを全校で確認し実行することになりました。その後もちょっとしたトラブルはありましたが、子どもたちの話し合いにより細かいルール(ドッジビーが一輪車エリアに入ったらプレイをとめる など)を加えていきました。今ではトラブルの声も少なくなり、それぞれの子どもたちが楽しく遊んでいます。

つつい大人(教員)が体育館使用ルールを決めてしまうことが多いのですが、本校では子どもたち自身による話し合い(自己決定)の場を大切にしたいと考えています。

子どもたちは、いずれ社会に出ていき、もっと困難な課題にぶつかっていきます。「ルールだから守る」というだけでなく、周りの人たちのことを考え、最適解(ベストだと判断した答え)が出せる人に育ってほしいと願っています。これからもたくさんの問題を解決してほしいです。



温かなご支援 ありがとうございます。

大雨により職員室前廊下に雨もりがおき、教育委員会へ電話連絡しました。翌日、「雨もりを直しに来ました」と保護者様が来校されました。ハシゴをかけ颯爽と屋根にのぼり、瓦のずれ直しやシリコン補修等を行っていただきました。教育委員会からの依頼による修理と思いましたが、ボランティア作業であったことを後で知り職員一同大変驚きました。連絡メール「...大森小学校施設被害については、廊下で一部雨もりが確認されております。ただ明日の学習活動には支障がないため、予定通り登校をお願いします。」をご覧になり修理に来られたとのことでした。子どもたちのために、見返りも求めず、行動していただいたこと、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

他にも大森小学校には、多くの方から季節の花や果物等が届きます。我が子だけでなく、学級や全校の子どもたちのために温かいご支援をいただいています。

保護者様、地域の皆様の温かい支えを受けて、子どもたちも安全に楽しく過ごしています。職員を代表しましてお礼申しあげます。ありがとうございました。



月	日	曜	主な行事
8	19	土	PTA奉仕作業(校庭周辺草刈り 7:00-8:00)
	22	火	サマースクール(9:00-10:45)
	30	水	2学期始業式 給食開始
	31	木	委員会活動
9	12	火	低学年 集合学習
	15	金	敬老会(まちづくりセンター)